

【中学校国語】

中学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均を上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均を上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- 文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して話したり、話し手の意図を考えながら聞き取ったりすること。
- 記事文に書かれている内容を基に、自分の考えを書いたり、書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすること。
- 比喩的な表現で書かれた部分の意味を考えるなど、表現の仕方や文章の特徴に注意して読み、内容について理解すること。
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使ったり、ことわざの文脈における意味を理解したりすること。

改善の方向

- 聞き手を意識して文の長さ、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意して話したり、目的をもって聞き取ったりする指導の充実。
- 目的や意図に応じて収集した必要な情報を、比較したり関連付けたりしながら意見や感想を書くことや、主述や修飾・被修飾の関係など語句同士の関係に注意しながら推敲する指導の充実。
- 前後の文章とのつながりや漢字の意味を手掛かりに語句の意味を推測し、文脈に戻すことで文章に書かれている内容の大筋を理解する指導の充実。
- 同音異義語や謙譲語について意味や用法を適切に理解して書いたり、国語辞典等を活用しながらことわざの意味を理解したりする指導の充実。

分類	国語	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	◆	◆	◆	△	◆	△	△	◆
	書くこと	◆	◆	◆	◆	◆	◆	△	◆
	読むこと	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	言語事項	◆	◆	◆	◆	◆	△	◆	◆
問題形式	選択式	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	短答式	◆	△	△	△	◆	◆	◆	◆
	記述式	◆	◆	◆	◆	◆	◆	△	◆

△(上回っている) ◆(ほぼ同程度) ▽(下回っている)

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。